

## 李明博韓国大統領の竹島訪問に対する抗議声明

平成24年8月10日  
自由民主党政務調査会  
外 交 部 会  
領土に関する特命委員会

本日、韓国の李明博大統領が、竹島を訪問するとの報道がある。

この訪問が行われれば、前代未聞の暴挙であり、このような行為は、これまで連綿と築きあげられてきた日韓の信頼関係を根本から覆すものであると言わざるを得ない。日本政府はこの事態を深刻に受けとめ、韓国に対し、総理大臣、外務大臣自ら中止を求めるべきである。万が一訪問することになれば、わが国の断固たる抗議の意思を伝えるとともに、早急に対応方針を固め、毅然とした措置をとらねばならない。

そのため、わが国の駐韓国大使を即刻帰国させ、詳しい状況報告を求めるとともに、情報・情勢分析に万全を期すべきこと。また、この問題が解決するまでは、わが国として、韓国に対する外交施策を見直すべきである。

政権交代後、民主党政権は、竹島を不法占拠と言わず、韓国に対し不必要な謝罪談話を行うなど、常に誤ったメッセージを発信し続けており、その行き着く果てが今回の事態である。

この3年間で、隣国である韓国、中国、ロシアとの外交関係は最悪の状態となり、同盟国である米国との信頼関係も低下している。その責任は、全て民主党政権にある。

我々は、戦後最悪の状態となった外交を立て直すためにも、全力を尽くす。